



災害時の停電対策は

町長=バックアップ電源の確保

町長

被災地である福島県は計画対象外です。

問

その対応は。

町長=バックアップ電源の確保

問

その対応は。

町長=バックアップ電源の確保

施された場合、すべての施設が停電となり、行政機能の低下はもちろん、大きな支障が予想されるので、今後バックアップ電源の確保や時間休業など多岐にわたる対応を総合的に検討します。

被災地である福島県は計画対象外です。

問

計画停電実施に伴う問題と

その対応は。

問

びわのかげ保育所の太陽光発電を、厨房施設だけではなく、保育所全体の電力に活用することは。

問

びわのかげ保育所の太陽光

か。

現在のシステムでは余剰電力を使用できないため、使用されていません。

実施例は、びわのかげ保育所への太陽光発電システム設置、環境共生住宅への試験パネル設置が挙げられます。

平成21年には小規模水力発電の事業化調査を実施しましたが、事業化の一一定の可能性は確認できたものの、現時点では実施には至っていません。

問

自然エネルギー一発電の調査に基づき、これまで実施した例は。

現在のシステムでは余剰電力を使用できないため、使用されていません。

問

楽器更新を

教育長=整備に努める

問

学校の老朽化した楽器を更新し、子どもたちの教育環境の整備を。

教育長

音楽教育は、感性を豊かにし、情操教育の充実にとって重要であると認識しています。

各学校の老朽化等の状況を調査し、関係者と十分協議し整備に努めます。



環境共生住宅（滝原地区）に設置された太陽光発電

・他の質問
・風評被害の対策を